

平成 2 6 年 度

一般財団法人やない花のまちづくり振興財団 事業計画書

(平成 2 6 年 4 月 1 日から平成 2 7 年 3 月 3 1 日)

1 事業目標

財団の設立趣旨に基づき「やまぐちフラワーランド」を拠点として、市民、地域団体、企業、花き生産者、行政などが協働して、花のまちづくりができる環境づくりを行うことにより、地域の花き振興の推進、地域内外の交流による地域の活性化、快適な生活空間の創出に寄与することを目的に事業を実施します。

また、やまぐちフラワーランドの指定管理者として、当該施設の適正な管理運営業務を行います。

2 事業計画

(1) 緑化と花いっぱい推進

ア 花の育苗ボランティア活動

育苗ボランティアの輪を広げ、種子からの育苗を実施し、公共施設などへの花壇づくりを推進します。

具体的には、育苗された苗の半数を回収し公共施設などで活用し、残る半数は育苗ボランティアの自家消費や地域での花壇づくりなどに活用、またフラワーランド協賛店とも連携して、街並みを花で飾る活動を推進します。(各戸などからの花いっぱいの推進)

また、学校育苗ボランティアとして、学校内で種子からの育苗を実施し、育苗された苗の半数を回収し公共施設などで活用し、残る半数は学校での自家消費での花壇づくりなどに活用し、花いっぱいの推進や子どもたちの情操教育に寄与する活動を推進します。

(ア) 育苗ボランティア参加者数	1 8 0 人
育苗回数 (講習会実施)	2 回 / 年
育苗計画数 (回収数)	1 6 , 0 0 0 本
苗の配布先	3 0 か所
(イ) 協賛店におけるプランター設置	1 1 5 か所
(ウ) 学校育苗ボランティア参加校数	小学校 1 1 校 中学校 4 校

イ 市民花壇に対する支援

柳井市内で市民団体などにより管理運営されている市民花壇を対象として、年 2 回の花苗・肥料の支給、相談・技術的助言を行うことにより、緑化と花いっぱい運動を効率的、効果的に進めます。

対象花壇数：60か所 (40団体)

ウ 推進地区の設定

柳井駅から柳井小学校までの麗都路通りや白壁の街並みを推進地区に設定して、年2回の花苗などの支給を行い、柳井市の玄関口の飾花に努めます。

(2) 花に関する情報収集及び花のまちづくりに関する啓発普及活動

花のまちづくりや花の楽しみ方、園芸技術水準やガーデニングに対する思いを満足させる情報の収集や広報紙などによる情報発信に取り組み、啓発普及活動を推進します。

ア 花のまちづくりに関する取組みや花の楽しみ方、花のある生活など花に関する情報の収集、調査研究を実施します。

イ 啓発普及

花に関する情報を広報紙などにより発信し、花のまちづくりへの参加、協力等を促進していきます。

ウ 花育の推進

小中学校を主体として、教育や地域活動に花を取り入れる取組みを行い、花と緑に親しみ・育てる機会を提供することにより、やさしさや美しさを感じる情操面の向上を進めます。

エ 子育て支援

花と緑に囲まれた環境の中で、妊娠・育児の悩みや不安やストレスを解消することにより、健康管理とリラックス感を得ることを目的とします。

また、託児による子どもの預かり場所を設けることで、異なる世代間の交流を生むことも期待できます。

毎月第3日曜日の家庭の日については、引き続き小中学生無料の取組みを進めるとともに、他施設や地域での行事との連携を図り、積極的に子どもたちの入園を促進します。

オ 園芸療法の推進

定期的な勉強会を開催するとともに、地元中学校特別支援学級の職場実習を受け入れ、花と触れ合うなかで、地域で生きていくための支援を進めます。

カ エディブルフラワーの推進

柳井市が進める「花ブランド開発事業」の中で、やまぐちフラワーランドを拠点として食べられる花エディブルフラワーの展示や試験栽培を行います。

(3) やまぐちフラワーランドの管理運營業務の実施（詳細については、別紙1 やまぐちフラワーランドの管理運営に係る事業計画（平成26年度）に記載。）

やまぐちフラワーランドの指定管理者として、施設の効用が十分に発揮できるよう地域力を結集して適切な管理運営に努めるとともに、来園者が花と緑に親しむ場を提供します。

あわせて、入園者数を年間12万人を当面の目標として、イベントやPRを積極的に

行い前年度以上の集客となるよう努力します。

ア 管理運営業務

(ア) 施設及び設備の維持管理

利用者が安全で快適に利用できるよう、各種マニュアルに基づき、施設及び設備の機能維持に努めます。

(イ) 花との触れ合いの機会の提供

来園者に対して、ガーデニングの提案を行うため、多くの品目・品種の花材を使用し、花本来の性質を十分に生かした花壇管理を行います。

また、環境にやさしい植物の利用や摘み取り体験など植物を使った教室等の提案を行います。

(ウ) 花に関する情報、資料の収集及び提供

花に関する書籍の充実を図り、各種情報の収集と情報交換ができる場とします。

ホームページ及び新たに開設したフェイスブックのほか多様な広告媒体により、各種情報を地域内外に発信します。

また、他施設との連携を積極的に行い、各種の情報提供に努めます。

(エ) 施設の使用許可等及び入園料、施設使用料の収受

施設及び設備の適正な使用、正確な入園料、施設使用料の収受に努めます。

イ 自主事業

施設利用者の利便を図るため、フラワーランドの魅力が高まるよう、花と緑をテーマとする魅力ある運営を基本とした物販事業を実施します。

実施にあたっては、「柳井ブランド」や「花ブランド開発事業」との連携により地産地消やオリジナル商品の開発に努めるとともに、花の楽しみ方の提案も行います。

花苗や鉢花、切り花などについて、市場や生産者、種苗会社などとの連携強化、山口県花き振興センターとの連携など、多角的視点からの販売展開を進めます。

特に、花苗については展示と販売の結び付けを強化します。

(別紙1)

やまぐちフラワーランドの管理運営に係る事業計画 (平成26年度)

1 運営上の基本方針

(1) 目指すべき方向

やまぐちフラワーランドは、「癒し」「観光」「生涯学習」「花育」など、花の持つ多様性を発揮できる分野を追求し、来園者が花と緑に親しむ場を提供する。

また、花への希望や思いを探る情報受信基地・新しい花の生活シーンや価値観を創造する情報発信基地・花のまちづくりの推進拠点として、各種マスメディアや情報紙、ホームページ、携帯サイト、フェイスブックなど多様なツールや人々が集う機会を利用して情報発信の更なる充実を図る。

このため、単なる施設運営ではなく、「人」と「自然」との関わりの中で、共に考え、共に成長していく心の運営を展開し、地域の人々のみならず多くの人々から愛され、親しまれる施設となることを目標とする。

あわせて、花き関係者との連携を図るとともに、併設されている山口県花き振興センターとの連携も強化して、山口県の花き振興の総合拠点としての機能が十分発揮できる運営を行う。

(2) 基本方針

ア 花のある生活文化の創造につながる多様なガーデニングを、年間通じて提案し、消費者の花き消費に対する意識を高める。

イ 丈夫で使いやすい花材や花の組み合わせを、より一層わかりやすく提案することにより、家庭や地域で取り組みやすいガーデニングの環境づくりを進めるため、販売・体験・講習会などの充実を図る。

ウ 植替花壇については、気象・土壌条件に馴染む品種、地元で生産される「こだわりの花苗」を利用した植栽を行うとともに、生産・販売などに関する情報提供を行い、産地化を支援する。

エ 元々の地形を生かした特長や自然のままの山林、また歴史ある長溝水路など、自然環境を活かしたふれあいの場とするため、里山環境やビオトープを保全し、自然と歴史と造成された庭園などを一体とした交流・ふれあいの場とする。

オ 地域との連携による参加型・交流型の運営を行い、県民・学校・各種団体などの積極的に参加により、みんなで育てるフラワーランドを目指す。

カ 来園者が交流できる参加型・体験型のイベント・講習会などを充実させ、情報の共有・受発信を行い、花や緑に対する意識の向上や活動を活性化させる運営を行う。

キ 次世代を担う子どもたちが、花に親しみをもち、花と関わる環境作りに努める。

ク 花や園芸の持つ「心の癒し」・「心の健康」の効果を生かすため、園芸療法などの考えを取り入れ、緑や土と触れ合うことで、ハンディキャップのある人にとっても安らぎを感じることものできる運営を行う。

- ケ 山口県花き振興センターとの連携を強化することにより、各種苗メーカーなどにも働きかけを行い、消費者に対しての新作発表や情報提供の場所としての活用を進める。
- コ 他の各種施設と連携を図り、やまぐちフラワーランドのPRと花の情報発信に努める。

2 花きの植栽計画

(1) 基本的な考え方

やまぐちフラワーランドは来園者に、ガーデニングの提案を行うため、多くの品目・品種の花材を使用し、花本来の性質を十分に生かした花壇管理を行う。

また、環境にやさしい植物の利用や、植物を使った体験や遊びの提案を行う。

平成26年度については『四季の彩り』をテーマに、フラワーランドにマッチした品目、品種を厳選し、特に春から秋にかけては、花色が鮮明な品目を取り入れるなど、年間を通して元気な花たちが咲き誇る花壇づくりを目指す。

また、収穫や体験イベントなどに使える花壇を設け、園内での各種教室との連携や、家庭や地域、学校など様々な場面で取り入れることのできる花壇づくり、情報交換のできる場づくりとなる運営を行う。

また、プランターやハンギングバスケットの活用、立体的な展示なども取り入れ、四季を感じ取れる庭園づくりを目指す。

山林部に隣接している花壇については、より借景効果（※庭園外の山や樹木などの風景を、庭を形成する背景として取り入れたもの。）を高め、自然との共生の中で魅力ある空間づくりを提案する。

また、山口県花き振興センターや各種苗メーカーとの連携を強化し、より多くの品目・品種の花材を使用するとともに、新しい品種の紹介にも努め花の消費拡大を図る。

(2) 計画内容

月	旬	本数	備考（主な花等）
4	上旬	51,000	ペチュニア、ロベリア、バーベナなど14品目
5	上旬	46,000	サルビアファリナセア、インパチェンスなど12品目
6	上旬	42,000	コリウス、トレニア、ニチニチソウなど16品目
7	上旬	26,000	アングロニア、ヒマワリ、ペンタスなど9品目
9	上旬	49,000	コスモス、ケイトウ、ジニアなど14品目
11	上旬	150,000	パンジー、ビオラ、ストックなど15品目
3	上旬	61,000	アイスランドポピー、ネモフィラなど17品目
計		425,000	

※ 植栽計画については、別添のとおり（別紙1）

3 イベント、講座等の実施計画

(1) 基本的な考え方

やまぐちフラワーランドのイベントは、「花き産業の振興を目的とする実践的な支援」と「花きの消費拡大に結びつく生活と、それを促す知恵と技をより多くの人々に提供する」手段として実施する。

特にイベントは、より多くの人々に、身近に花を楽しむ機会を提供することの実現のため、美しい環境の中で楽しさを体感し、より一層花の持つ多様性を実感する機会を設けることができる体験型や交流型を主体に展開する。

子育て家庭応援優待協賛事業所として、託児をセットした体験教室や、お子様連れの家族が安心して過ごすことのできる遊具などの充実を図り、子育て支援に繋がる運営を実践する。

ア イベントの開催と種類

イベントは「集客を主目的にしたお祭り型イベント」、「フラワーランドの存在価値を高めファンを増加させるイベント」、「花きの振興と花のまちづくりを展開するイベント」、「フラワーランドの収益を目的としたイベント」に大別して以下のとおり展開する。

- (ア) 集客系イベント
- (イ) 魅力増加イベント
- (ウ) 花き振興イベント
- (エ) 収益系イベント

イ イベントに対応した臨時開園及び開園時間の延長

平成26年度の各フェスタ期間中、休園日を臨時開園する。

ウ イベントの開設

(ア) 常設イベントとして、「押し花体験」と「寄せ植え体験」を引き続き実施する。
この他、随時週末や祝日に、体験型のイベントを企画する。

(イ) 春や秋のガーデニングシーズンに「ガーデニングフェア」を実施し、多くの集客が見込める時期には、地域の団体などの協力を得てフード屋台などを実施する。

(ウ) やまぐちフラワーランドの新たな活用方法として、暮らしの中で花に関わるきっかけづくりとなるようなコンテスト系のイベントを実施する。

(エ) 小さなお子様をお持ちの方も安心して催しに参加できる、託児付きのイベントを実施する。

(2) イベントの計画内容

ア 集客系イベント

(ア) 万人目セレモニー

10万人ごとの節目の入園者に、押花の額と季節の花など記念となる品をプレゼントする。

(イ) 四季のイベントなど

- ・周年記念イベント（誕生祭は21日）4月19日（土）～21日（月）
- ・グリーンフェスタ 4月25日（金）～5月6日（火）
- ・サマーフェスタ 8月14日（木）～17日（日）
- ・オータムフェスタ 10月24日（金）～26日（日）
- ・お客様感謝デー 12月7日（日）
- ・花のクリスマス 12月20日（土）～25日（木）
- ・正月イベント（新春フェスタ）1月1日（木）～3日（土）
- ・スプリングフェスタ 3月20日（金）～22日（日）

（ウ） 月のイベント

登録講師による体験教室、展示会、園芸関連教室、子育て支援付き教室、直営体験イベント、園内パフォーマンス 毎月第3日曜日(家庭の日)、フラワーランド倶楽部会員対象イベント

（エ） コンテスト系イベント

花の絵手紙大賞作品展、寄せ植えコンテスト、写生大会、フォト撮影展示会

（オ） 地域連携イベント

柳井市内観光4施設連携イベント、県内観光施設連携イベント、隣接ウェルネスパーク連携イベント、地域企業主催のあじさい祭り、お菓子祭りなど

イ 魅力増加イベント（ファン拡大イベント）

（ア） 花の抽選会

パスポート購入者への花苗のプレゼント。

パスポート会員への特典として、年4回抽選で花をプレゼント。

花の抽選会を毎月開催。

「旬の花の展示」で展示した花を抽選でプレゼント（随時）

（イ） パスポート販売強化月間

（エ） 無料開園でのお客様感謝デーなど

ウ 花き振興イベント

（ア） 花の持つ多様性のPR

展示会・体験教室・講座・園芸教室など

エディブルフラワー試食会・販売

（イ） 山口県花き振興センターや県内生産者との連携

生産物を活用した体験・直売会など

（ウ） 種苗メーカーとの連携

パケットトライアル・フィールドトライアル

（エ） 地域企業との連携

花とコラボした展示など

（カ） その他

他施設での展示会、体験教室、講座などの開催

他地域で開催されるイベントでの展示会、体験教室など

エ 収益系イベント

- (ア) 体験や交流型イベント
常設押し花クラフト体験・園芸体験（寄せ植えなど）、団体体験教室
- (イ) ガーデニングフェア 4月及び10月
- (ウ) 食の提供
・フード屋台 フェスタ期間中及び多客期の週末・祝日

(3) 講座などの計画内容

ア 体験教室

- (ア) 常設押し花クラフト体験
やまぐちフラワーランドの花材を使用した、押し花クラフト体験を実施
- (イ) 一般体験教室
花に関連する分野（フラワーアレンジメント・プリザーブドフラワー・アートフラワー・絵手紙・料理・草木染・寄せ植えなど）の体験教室を季節や展示イベントと連動して、土・日を中心に月4回以上実施する。
その他の分野（ビーズアクセサリー・トールペイント・絵手紙・陶芸・料理・草木染・イラスト工作・ジェルキャンドルなど）の体験教室を季節やイベントと連動して実施する。
- (ウ) 定期教室
 - ・園芸療法教室
園芸の療法的活用の普及と幅広い来園者の確保を図るため、園芸療法の紹介と簡単な体験を実施（毎月1回）
 - ・園芸教室
花に対する興味・関心を高め、来園者の確保を図るため、季節の園芸作業の体験を実施（毎月1回）
- (エ) 団体体験教室
団体を対象に、予約申込により希望する体験教室を実施

イ 定期講座

体験教室の内容をより詳しく、または段階分けをするなど専門化して開催し、来園者の安定化とスキルアップを図る。

- (ア) 園芸療法勉強会
園芸療法教室の受講経験者などで、園芸療法に興味・関心を持った人が地域で活用できるよう、月1回計5回の連続したコースを通して1つのテーマを学ぶ。
- (イ) 登録講師の主催による各種定期教室

ウ フラワーランド倶楽部会員を対象とした講習会

フラワーランド倶楽部会員を対象に、更なる知識向上や地域における花き振興を推進するために、季節に応じた花の栽培講習会を年2～3回開催する。

4 花きに関する情報提供や広報宣伝などの実施計画について

(1) 情報提供

ア 基本的な考え方

山口県花き振興センターとの連携はもとより、地域の企業などとの連携により、美しい花をあしらう場、花のある生活について学ぶ場として、需要の多様化や消費の拡大につながる情報を提供する。

イ 計画内容

- ・ ホームページや携帯サイトなど様々な情報発信ツールを活用し、展示やイベントの取り組み状況を発信することなどにより、花の多様性をPRする。
- ・ 図書情報室の花き・園芸などの図書により花に関する情報を提供する。

(2) 広報・宣伝等

ア 基本的な考え方

開花情報や催事情報などの提供を行い、常に新鮮な情報を伝え「毎日が新しい」ということを感じることで、新たな来園者及びリピート客の拡大を図っていくイメージを柱とする。

また、効果的なメッセージを伝える戦略が必要であるため、時期(植替え時期・行楽シーズンなど)や商圈エリアを設定するなど、それぞれに応じた広報・PRを行う。

実施にあたっては、地元観光協会や商工会議所との連携、やまぐちフラワーランド協賛店(やまぐちフラワーランドを応援する柳井地域の事業所)や地元企業との連携、花き関係団体や他施設との連携、旅行会社などへの情報提供を行う。

山口県内を重点としながら、隣接する広島県などへのPRも進めるものとする。

- (ア) 新聞・雑誌・テレビ・ラジオなど多くの媒体があるが、それぞれの特性を活かした展開を図り、クーポン券の活用を進める。
- (イ) 入園者とのコミュニケーションづくり
可能な限り園内に出向き、特に植え替え時期には積極的に入園者案内を行う。
- (ウ) 県民が集う機会を活用してのPR
- (エ) 他産業や他施設との連携によるPRに加えて、クーポン券の活用を図る。
- (オ) 観光施設との連携によるPRに加えて、クーポン券の活用を図る。
- (カ) やまぐちフラワーランド協賛店との連携によるPR
- (キ) 地元ケーブルテレビとの連携によるPRホームページの活用

イ 計画内容

(ア) ホームページなどの活用

いつでも新鮮な情報が手づくりで可能な媒体であり、携帯サイトやブログタイプとして常に新鮮な情報提供に心がける。

FacebookなどSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)も積極的に活用し、幅広い層へのアクションを行なう。

(イ) リーフレットなどの作成

① リーフレット

やまぐちフラワーランドの観光PRや園内の案内用として必要に応じ作成し、位置案内・入園案内・各種花の見頃・見どころ・園内マップなどを掲載する。

② ポスター

地元や関係機関との連携により、効率的かつ効果的な活用を図る。

③ フラワーランドだより

やまぐちフラワーランドの存在価値を高め、来園者及びリピート客を増加させるための情報誌として年4回発行

④ イベントPR用リーフレット

イベント詳細情報の発信ツールとして毎月作成する。（概略は、やまぐちフラワーランドだよりも掲載）

また、地元へのPRとして連動したイベントポスターも作成する。

⑤ ノベルティ（広告・宣伝のため、社名などを記して配布する記念品。）

イベントなどに活用し、来園やイベントへの参加意欲の促進、販売物の購入意欲を促進させるなどのツールとして利用する。

(ウ) テレビ・ラジオ

テレビについては、やまぐちフラワーランドを認識してもらうためのツールの一つとして、番組への出演やCM、報道発表によるニュースなど多角的に活用する。

ラジオについては、広域エリアを対象としてテレビと同様の方向で活用する。

(エ) 新聞

新聞については、常に新しい情報を報道発表により提供する。

広告については、掲載による費用対効果などを考慮し、絞り込んだ対応をする。

(オ) フリーペーパーなど

効率的なものを活用し、情報提供に努める。また、四季のイベント情報発信ツールとして活用する。

(カ) その他

J A通信「あけぼの」や地元企業などとの連携により、随時PRに努める。

入園促進を図るため、県内各学校への団体体験教室などのPRを行う。

特に、小中学生を対象とした、イベントの実施などを通じ、PR・集客に努める。

5 収支計画

別添のとおり（別紙 平成26年度予算）

6 その他の利用促進策について

(1) 夏場の集客対策として、夏休み期間中に中学生以下の子供へプレゼント実施。

(2) 毎月第3日曜日を家庭の日として設定し、家族連れの小中学生を無料とする。

(3) やないファミリーサポートセンターの会員は、会員証提示により小中学生を無料とする。

(4) 無料入園券のプレゼント企画の充実

(5) 他施設との連携によるサービスの拡充

- (6) 年間の安定的な利用を促進するためには、年間利用券（パスポート）の所持者（パスポート会員）を確保・拡大することが効果的であるため、購入者に対する特典を講ずるとともに、南すおう農業協同組合・商工会議所に加えて、協賛店などにおいても随時購入できる体制にする。さらに、3月と9月をパスポート販売強化月間とする。

（パスポート会員の特典）

やまぐちフラワーランド売店・協賛店での割引や粗品進呈などの特典
年に4回、購入者全員を対象に抽選による花のプレゼント
月に1回、来園者を対象に抽選による花のプレゼント

7 地域や団体などとの協働について

(1) コミュニティーガーデンの運営方針

近隣のサークル、ボランティア、各種教育機関、生産農家などとのネットワークを構築し、住民参加による「美しい花が咲きこぼれるまち」をテーマとして、楽しく独自性のあるプログラムを実践する。

参加者・参加団体は、コミュニティーガーデンの1区画を自らデザイン・設計を行い整備し、年4回程度の植栽を実施する。

種苗会社などと連携してフィールドトライアルとしての利用や、山口県花き振興センターと連携した実証花壇としても活用を図る。

ガーデニングへの関心を高めるため、スクール系イベント（高齢者・主婦層対象）や集客系イベント（週末、祝祭日、夏休みなどに開催）としての講座・体験の場としての活用も行う。

(2) 県民参加型の施設運営（コミュニティーガーデン以外）

花や緑に関心を持ち、やまぐちフラワーランドの運営に対する助言やボランティア活動（園内ガイドボランティア、花ボランティア）などに協力頂ける者により「フラワーランド倶楽部」を組織し、それぞれの立場で施設運営に携わってもらう体制づくりを行う。

また、柳井市の「花いっぱい事業」を受託し、市内の花壇づくりの支援を行う。

(3) 県内の花き生産者・消費者などとの協働

園内に植栽する花壇苗などについては、庭園の管理が容易となるよう南すおう農業協同組合管内で産地化を進め、園内の土壌と同じ条件で栽培管理された花苗を使用する。

また、他の花苗についても、県内で生産された苗を利用することにより、県内の産地化を支援する。

生産者との連携により、生産された花（切り花・鉢物・苗物）を館内に装飾することにより、消費者に対するPRを行う。

生産や販売の戦略を構築する一助となる情報を随時提供するとともに、山口県花き振興センターとの連携を密にし、生産者に多様な情報を提供する。

(4) 県内消費者などとの協働

やまぐちフラワーランドから地域に波及する庭園づくりを発信し、花のまちづくりを進める。

福祉施設などの関係団体との連携を図り、花を通じた健康づくりの提案を行う。

市場関係者との情報交換を密にし、魅力ある庭園づくりに向けて、植栽計画に反映させる。

また、花卉園芸推進協議会と連携を図り、花の情報発信基地を各地に拡げて行く活動を進める。

切り花、苗物、鉢物といった従来の販売方法のみでなく、花の加工など新たな販売方法を模索し、起業家の育成を支援する。

8 その他

(1) 入園者の利便・集客増を図るため、開園日・開園時間の変更を行う。

ア 臨時開園日

月 日 (曜)	理 由
5月 1日 (木)	グリーンフェスタ開催期間中
8月14日 (木)	サマーフェスタ開催期間中
12月25日 (木)	花のクリスマスイベント開催期間中
1月 1日 (木)	新春正月イベント開催

イ 開園時間延長

月 日 (曜)	理 由
8月14日 (木) ～16日 (土)	サマーフェスタ開催期間中：夜間開園

平成26年度正味財産増減予算書

平成 26年4月1日から 平成 27年3月31日まで

(単位 : 円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[3,000]	[]	[]
基本財産運用益	3,000		
事業収益	[169,453,000]	[]	[]
受託事業収益	(113,258,000)	()	()
管理運営業務受託収益	111,722,000		
企画強化支援事業受託収益	240,000		
花のまちづくり事業受託収益	1,296,000		
入園料等収益	(30,874,000)	()	()
入園料収益	30,000,000		
貸館利用料収益	874,000		
自主事業収益	(2,633,000)	()	()
企画事業収益	2,633,000		
物販販売等収益	(22,688,000)	()	()
物販販売等収益	18,688,000		
委託販売収益	2,300,000		
自販機設置手数料収益	1,700,000		
受取補助金等	[67,069,000]	[]	[]
受取補助金	(67,069,000)	()	()
受取運営事業費補助金	67,069,000		
受取負担金	[781,000]	[]	[]
受取管理運営等経費負担金	781,000		
雑収益	[130,000]	[]	[]
受取利息	5,000		
雑収益	125,000		
経常収益計	237,436,000		
(2) 経常費用			
事業費	[232,367,720]	[]	[]
給料	15,291,160		
職員手当	6,594,440		
臨時雇賃金	30,250,000		
退職給付費用	0		
福利厚生費	5,267,580		
災害補償費	5,900		
交際費	10,000		
旅費交通費	201,840		
通信運搬費	1,297,030		
減価償却費	0		
消耗什器備品費	50,000		
消耗品費	5,286,150		
原材料費	31,323,000		
修繕費	1,616,110		
印刷製本費	2,772,170		
燃料費	581,860		
光熱水料費	6,453,110		
食糧費	13,000		
賃借料	4,929,390		
保険料	197,390		
支払手数料	479,160		
広告料	5,177,000		
諸謝金	2,292,000		
租税公課	5,059,870		
支払負担金	28,058,330		
支払寄附金	40,000		
委託費	63,354,630		
工事請負費	1,210,000		
賞与引当金繰入額	1,376,600		
商品仕入費	12,846,000		

平成26年度正味財産増減予算書

平成 26年4月1日から 平成 27年3月31日まで

(単位 : 円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減
期首商品棚卸高	4,993,717		
期末商品棚卸高	▲ 4,993,717		
雑費	334,000		
管理費	[4,631,184]	[]	[]
役員報酬	286,000		
給料	659,840		
職員手当	284,560		
退職給付費用	0		
福利厚生費	85,420		
災害補償費	100		
交際費	10,000		
旅費交通費	17,160		
通信運搬費	24,970		
減価償却費	115,904		
消耗什器備品費	0		
消耗品費	35,850		
修繕費	1,890		
印刷製本費	2,830		
燃料費	2,140		
光熱水料費	583,890		
食糧費	0		
賃借料	25,610		
保険料	2,610		
支払手数料	485,840		
租税公課	152,130		
支払負担金	1,186,670		
支払寄附金	0		
委託費	608,370		
賞与引当金繰入額	59,400		
雑費	0		
経常費用計	236,998,904		
当期経常増減額	437,096		
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0		
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0		
当期経常外増減額	0		
税引前当期一般正味財産額	437,096		
法人税、住民税及び事業税	150,000		
当期一般正味財産増減額	287,096		
一般正味財産期首残高	13,452,131		
一般正味財産期末残高	13,739,227		
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0		
指定正味財産期首残高	10,000,000		
指定正味財産期末残高	10,000,000		
III 正味財産期末残高	23,739,227		

正味財産増減予算書内訳表
平成 26年4月1日から 平成 27年3月31日まで

(単位 : 円)

科 目	実施事業等会計	その他会計			法人会計	合 計
	花のまちづくり推進事業	フラワーランド管理運営事業	物販販売事業	小計		
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
基本財産運用益	[3,000]	[0]	[0]	[0]	[0]	[3,000]
基本財産運用益	3,000	0	0	0	0	3,000
事業収益	[1,296,000]	[143,596,297]	[22,688,000]	[166,284,297]	[1,872,703]	[169,453,000]
受託事業収益	(1,296,000)	(110,089,297)	(0)	(110,089,297)	(1,872,703)	(113,258,000)
管理運営業務受託収益	0	109,849,297	0	109,849,297	1,872,703	111,722,000
企画強化支援事業受託収益	0	240,000	0	240,000	0	240,000
花のまちづくり事業受託収益	1,296,000	0	0	0	0	1,296,000
入園料等収益	(0)	(30,874,000)	(0)	(30,874,000)	(0)	(30,874,000)
入園料収益	0	30,000,000	0	30,000,000	0	30,000,000
貸館利用料収益	0	874,000	0	874,000	0	874,000
自主事業収益	(0)	(2,633,000)	(0)	(2,633,000)	(0)	(2,633,000)
企画事業収益	0	2,633,000	0	2,633,000	0	2,633,000
物販販売等収益	(0)	(0)	(22,688,000)	(22,688,000)	(0)	(22,688,000)
物販販売等収益	0	0	18,688,000	18,688,000	0	18,688,000
委託販売収益	0	0	2,300,000	2,300,000	0	2,300,000
自販機設置手数料収益	0	0	1,700,000	1,700,000	0	1,700,000
受取補助金等	[3,586,142]	[59,148,638]	[0]	[59,148,638]	[4,334,220]	[67,069,000]
受取補助金	(3,586,142)	(59,148,638)	(0)	(59,148,638)	(4,334,220)	(67,069,000)
受取運営事業費補助金	3,586,142	59,148,638	0	59,148,638	4,334,220	67,069,000
受取負担金	[0]	[600,000]	[181,000]	[781,000]	[0]	[781,000]
受取管理運営等経費負担金	0	600,000	181,000	781,000	0	781,000
雑収益	[1,000]	[126,000]	[3,000]	[129,000]	[0]	[130,000]
受取利息	1,000	2,000	2,000	4,000	0	5,000
雑収益	0	124,000	1,000	125,000	0	125,000
経常収益計	4,886,142	203,470,935	22,872,000	226,342,935	6,206,923	237,436,000
(2) 経常費用						
事業費	[6,393,000]	[203,440,040]	[22,534,680]	[225,974,720]	[0]	[232,367,720]
給料	390,170	14,040,320	860,670	14,900,990	0	15,291,160
職員手当	168,260	6,055,010	371,170	6,426,180	0	6,594,440
臨時雇賃金	380,230	27,235,320	2,634,450	29,869,770	0	30,250,000
退職給付費用	0	0	0	0	0	0
福利厚生費	92,100	4,775,880	399,600	5,175,480	0	5,267,580
災害補償費	100	5,350	450	5,800	0	5,900
交際費	0	10,000	0	10,000	0	10,000
旅費交通費	0	201,840	0	201,840	0	201,840
通信運搬費	57,160	1,229,090	10,780	1,239,870	0	1,297,030
減価償却費	0	0	0	0	0	0
消耗什器備品費	0	50,000	0	50,000	0	50,000
消耗品費	31,370	5,150,130	104,650	5,254,780	0	5,286,150
原材料費	4,440,000	26,883,000	0	26,883,000	0	31,323,000
修繕費	1,650	1,613,160	1,300	1,614,460	0	1,616,110
印刷製本費	2,480	2,767,740	1,950	2,769,690	0	2,772,170
燃料費	1,880	578,510	1,470	579,980	0	581,860
光熱水料費	0	5,880,430	572,680	6,453,110	0	6,453,110
食糧費	0	13,000	0	13,000	0	13,000
賃借料	20,880	2,881,580	2,026,930	4,908,510	0	4,929,390
保険料	2,280	193,320	1,790	195,110	0	197,390
支払手数料	5,110	470,040	4,010	474,050	0	479,160
広告料	0	5,177,000	0	5,177,000	0	5,177,000
諸謝金	0	2,292,000	0	2,292,000	0	2,292,000
租税公課	71,110	4,932,670	56,090	4,988,760	0	5,059,870
支払負担金	682,760	25,869,470	1,506,100	27,375,570	0	28,058,330
支払寄附金	0	0	40,000	40,000	0	40,000
委託費	10,330	62,577,190	767,110	63,344,300	0	63,354,630
工事請負費	0	1,210,000	0	1,210,000	0	1,210,000
賞与引当金繰入額	35,130	1,263,990	77,480	1,341,470	0	1,376,600
商品仕入費	0	0	12,846,000	12,846,000	0	12,846,000
期首商品棚卸高	0	0	4,993,717	4,993,717	0	4,993,717
期末商品棚卸高	0	0	▲ 4,993,717	▲ 4,993,717	0	▲ 4,993,717
雑費	0	84,000	250,000	334,000	0	334,000
管理費	[0]	[0]	[0]	[0]	[4,631,184]	[4,631,184]
役員報酬	0	0	0	0	286,000	286,000

正味財産増減予算書内訳表
平成 26年4月1日から 平成 27年3月31日まで

(単位 : 円)

科 目	実施事業等会計	その他会計			法人会計	合 計
	花のまちづくり推 進事業	フラワーランド 管理運営事業	物販販売事業	小計		
給料	0	0	0	0	659,840	659,840
職員手当	0	0	0	0	284,560	284,560
退職給付費用	0	0	0	0	0	0
福利厚生費	0	0	0	0	85,420	85,420
災害補償費	0	0	0	0	100	100
交際費	0	0	0	0	10,000	10,000
旅費交通費	0	0	0	0	17,160	17,160
通信運搬費	0	0	0	0	24,970	24,970
減価償却費	0	0	0	0	115,904	115,904
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0
消耗品費	0	0	0	0	35,850	35,850
修繕費	0	0	0	0	1,890	1,890
印刷製本費	0	0	0	0	2,830	2,830
燃料費	0	0	0	0	2,140	2,140
光熱水料費	0	0	0	0	583,890	583,890
食糧費	0	0	0	0	0	0
賃借料	0	0	0	0	25,610	25,610
保険料	0	0	0	0	2,610	2,610
支払手数料	0	0	0	0	485,840	485,840
租税公課	0	0	0	0	152,130	152,130
支払負担金	0	0	0	0	1,186,670	1,186,670
支払寄附金	0	0	0	0	0	0
委託費	0	0	0	0	608,370	608,370
賞与引当金繰入額	0	0	0	0	59,400	59,400
雑費	0	0	0	0	0	0
経常費用計	6,393,000	203,440,040	22,534,680	225,974,720	4,631,184	236,998,904
当期経常増減額	▲ 1,506,858	30,895	337,320	368,215	1,575,739	437,096
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産額	▲ 1,506,858	30,895	337,320	368,215	1,575,739	437,096
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	150,000	150,000
当期一般正味財産増減額	▲ 1,506,858	30,895	337,320	368,215	1,425,739	287,096
一般正味財産期首残高						13,452,131
一般正味財産期末残高						13,739,227
II 指定正味財産増減の部						
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高						10,000,000
指定正味財産期末残高						10,000,000
III 正味財産期末残高						23,739,227

事業 年度	自 平成 26 年 4 月 1日
	至 平成 27 年 3 月 31日

資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定の有無を記載し、借入れ予定がある場合は、その借入れ先等を記載してください。

借入れの予定		あり	✓	なし
事業番号	借入先	金額	使途	

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資(除却又は売却を含む。)の有無を記載し、設備投資の予定がある場合は、その内容等を記載してください。

設備投資の予定		あり	✓	なし
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の予定額	資金調達方法 又は取得資金の使途	